

平成19年度の主な行事

《 試験場公開デー 》

酪農や試験場の仕事を地域の皆さんに広く理解していただくため、4年前から公開デーを開催しています。第4回目の今年は、子供さんや大人向けのいろいろな体験・相談コーナーに加え、哺乳体験や牛舎内の搾乳風景を見学するバスツアーなどを行い、約414名の来場者でにぎわいました。(写真右・下)



(新企画の哺乳体験コーナー。行列ができました。)



(バター作り体験:上)

(クッキー作り体験:右)

(バターづくり体験。べっかい乳業興社さんの指導で、みんな一生懸命、振っています。バターたっぷりクッキー作り体験。今年はトッピングもあって、大盛況でした。)



(今年も売り切れでした！別海高校、中標津農高、農村女性ネットワークあらかるとの皆さんです。)

《 酪農フォーラム 》

根釧酪農の将来を拓くため、生産技術、農業政策など各界から招いた講師を中心に地域の関係者と意見交換をする場として不定期に開催しています。その内容は今後の試験研究や技術開発に反映させることを目指しています。

第19回（平成19年11月1日） 「草場地帯だからこそひらける酪農のこれから」

世界的な農業情勢の変化による配合飼料高騰に対応する、根釧酪農の展開方向について農林水産省課長補佐浅沼達也氏と(財)北海道地域農業研究所常務理事黒澤不二男氏に講演していただきました。両氏とも根釧酪農の基盤である自給飼料に立脚し、酪農支援システムの推進など自給飼料のさらなる利活用の必要性を述べられました。(写真右)



《 酪農講座 》

根釧地域の技術的問題を根釧農業試験場と地元生産者、農業関係機関が直接話し合い、解決の方向を探っています。本年は10月30日と2月29日に標津町で、それぞれ「草地の簡易更新について」と「根釧地域におけるとうもろこし栽培について」をテーマに意見交換を行いました。(写真右・下)



《 快適牛舎研究会 》

「人と牛に快適な牛舎」について、関係業者、農協、普及センター、農業試験場と一緒に考える研究会を開催しています。これまで18回の開催で約450名が参加し、本年はフリースタイル牛床設計の留意点、既存牛舎の牛床評価方法などについて意見交換や研究成果の紹介をしました。(写真右・下)



(牛がきれい:上)



(牛が汚れている:右)

(サイドパーティション(隔柵)がないと牛が汚れやすくなります。)



(タイレールの高さが80cm未満だと牛が汚れやすくなります。)



(牛床前方に障害物があると、牛はスムーズに起きあがれません。)